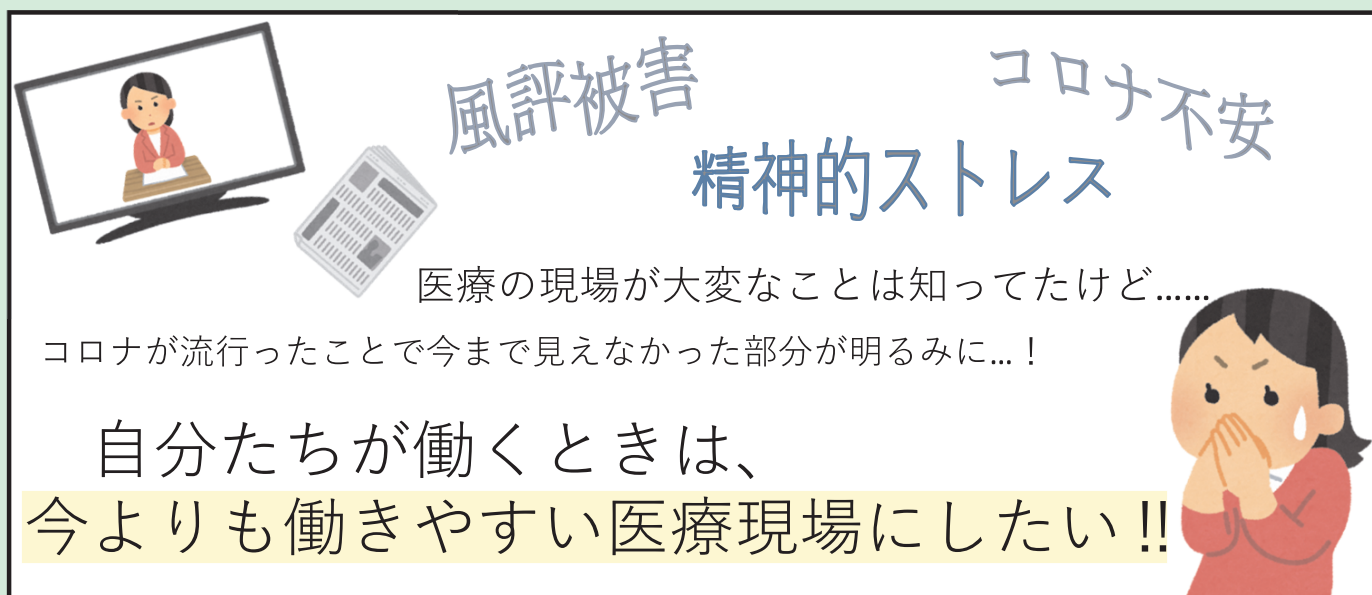
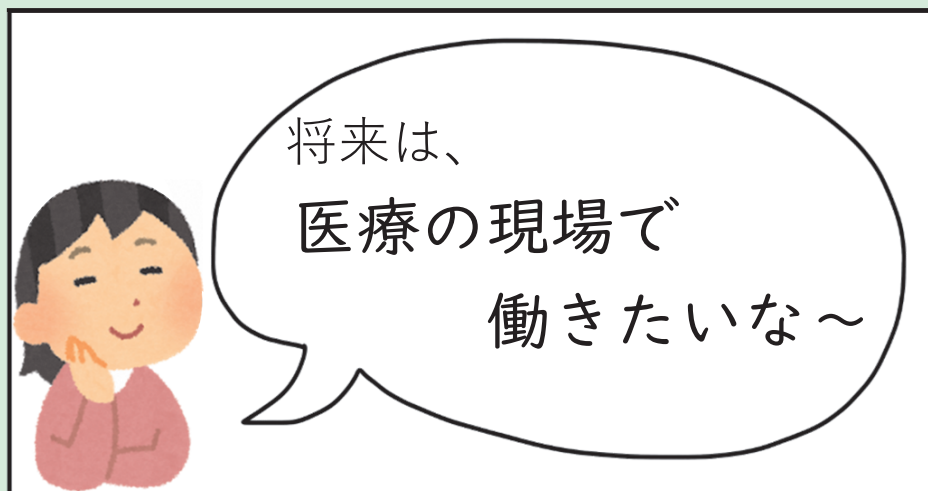




第12話

「働きやすい医療現場って？」



将来の自分・医療現場で働く人のため！

岡山市立市民病院 などの現場で、



働く環境の現状 や
改善の取り組み などについて

聞いてみよう!!

☆ 岡山市内の、とある病院での調査 ☆

Googleフォームを活用して、医療関係者の方々の実際の現場の生の声を聞くために実施しました。

コロナ禍での業務

実際に受けた風評被害やトラブル、職場の満足度などについて

⇒自分たちの想像よりも被害に遭った人の割合が少なかったが、コロナへの不安は大きかった。ただ、仕事量と人員の割合の差から満足度は“微妙～まあ満足”が多かった。

医療現場の環境

リエゾンナースの知名度や休みの取りやすさなどについて

⇒リエゾンナースの知名度は低く導入を希望する声も少なかったが、“サポートチーム”を設置していた。また、休みも取りやすいという人が多かった。

岡山市立市民病院で、現在行っている取り組み

について聞いてみました！

Q, 「**リエゾンナース**」って、いますか？

○ リエゾンナースとは ○

医療で働く人のメンタルケアやサポートをしてくれるナースのこと！
他にも、院内の他の科の人に直接言いづらい時などに仲介役となってくれます！

A, 岡山市立市民病院では、メンタルケアなどが専門のリエゾンナースを設置する代わりに、「**メンタルサポートチーム**」を設置して、医療現場で働く人の心の不安や、働く上での心配事などを解消しています。

メンタルサポートチームでは、医療現場で働く人達が**相談しやすい環境づくり**や、受けた相談から**病院内の職場の状況などを分析**し、働きやすい現場になるような工夫もしています！



Q, **休み**って、取りやすいですか？

A, 岡山市立市民病院の看護部では、毎日医療現場で忙しく働く人たちのために、自分の生まれた日くらいは、と必ず**休み**が取れる「**誕生日休み**」の制度を取り入れているそうです。

新社会人の人は、**休み**が取りづらい傾向 にある・・・

「休みたい日言ってね」と言われても遠慮してしまいがちな職員さんやなかなか休みが取れない医療関係者の方にとっては助かる制度です！

他にも、産休・育休など人生の休みもできるだけとれるように工夫されているそうです。

左ページでよりよい医療現場のために
岡山市立市民病院で行っている取り組みについてはわかったけど・・・

広い視野で「働きやすい医療現場」を見た時に
どのようなことが求められ、大切にすべきかが
まだイマイチわからない……。



医療に関わる全ての人々が、仕事をする上で
大切になってくることは何か。 詳しく聞いてみよう！

Q. 医療の仕事をする上で大切なことは？

誰に対しても思いやりを持つ

患者さん本人が対象となる医療現場。
でもその現場には患者さん以外に職場の人も含
めたたくさんの人が関わっています。

「医療の仕事をしていると、どうしても
患者さんにだけ目を向けてしまいがちになる」と
市民病院の方は教えてくださいました。

常に人とコミュニケーションを取りながら、様々な
仕事をする医療現場だからこそ、患者さんだけでなく

全ての人に思いやりの気持ちを
持ちながら日々を過ごす

そうすることで患者さんにとって最善の
医療が提供できることが大切だそうです。

悲観的にならない

医療現場では、つらいことは常に隣り合わせです。
時に、患者さんが亡くなってしまいうこともあります。

そのような時、悲しく辛い気持ちになるのは仕方のない
事ですが、その度に悲しんで、悲観的になっていては医療
の仕事は続けられないそうです。

いつ辛く悲しいことが起きてしまうか予想がつか
ない医療現場ですが、気持ちの切り替えをしっかり
とし、

楽観性を忘れずに仕事をする

ことも必要だそうです。

医療現場に“正解”はない

手術や治療をするうえで、
基本となるのは教科書や資料で
自分が今まで勉強してきたこと。
でも実際、現場へ自分が今まで
教科書等を見て学んできたことを
そのまま使おうとすると、誤った
選択をしかねない。

『教科書に書いてある＝正解』
ではないから、自分が今まで経験
してきた事を活用・応用しながら
仕事をしていかないといけない。



医療現場では医療ミスを極力なくするため
患者さんの治療や手術などをする際には、
複数の医師や看護師が他職種とチームを
組んで「どのような治療をするのか」など
について何度もチームで話し合うそうです。

チームで話し合っで決めることで「ほかの誰か
が決めたから」と、人任せにならなくなったり、
良かった点や今後改善できる点を治療後にチーム
で確認し合うことができるそうです。

常に変化していく医療現場では、

その時に合った正解を
見つけ出していく

ことが求められるそうです。

私たちが考える「働きやすい医療現場」とは

人間関係

患者さんだけでなく
先輩・後輩・同僚に対して
思いやりを持って生活をする。



より多くのストレスや不安
を感じやすい医療現場だから
こそ、互いを思いやっていく。

職場環境

情報共有をきちんとし、
お互いのストレスを最小限に。



普段から職員同士の
連携を取る



様々な仕事を
スムーズに行える。

メンタルヘルス

メンタルサポートチームの
有無を明確に。



職場内で相談しやすい雰囲気
をつくる。



「言ってくればよかった」
は言い出せない側への圧に
なってしまうため、
そうなる前に解決する。

働く人に優しい

- ・休みが取りやすい工夫
- ・男女問わず育休産休を取りやすく
- ・仕事とプライベートの区別



- 新社会人の人たちは
希望を伝えづらい傾向にある
発言しやすい空気をつくる。
- 安心できる場所である家庭に
仕事を持ち帰らせない工夫をする。

周囲への理解

医療への風評被害などの原因
→「知らないことへの不安・恐怖」



医療職以外の人に医療職への理解を広げ、
医療現場を知らない人への不安を減らす。



医療現場の現状を知ってもらうことで
医療職の人も働きやすくなるし
一般の人でも不安や疑問が減り過ぎやすくなる。

これらの5つの要素をクリアすれば、
理想の「働きやすい医療現場」が期待できる！！

【編集後記】

このWASAOレターを通して、もっと沢山の皆さんに医療現場の職場環境についてなど知ってもらえたら嬉しいなと思いましたし、医療現場で働く方の生の声をお聞きすることができてとても良い経験になりました。医療職だけでなく、どんな職業でも一人ひとりが働きやすいような工夫や取り組みを考えてもらえたら良いなと思います。

生徒 H



インタビューをする前までは、医療現場はとても過酷なイメージがあったけど実際には皆で話合って改善しながら働きやすい職場になるようにしているのだと知ることができました。そして働く方々の応用力の大切さも知ることができました。その時々の方針を考えるとともにそれを実行する決断力も大切なのではないかと感じました。

生徒 K



コロナが流行してから、私たちに様々な方法でコロナについて調べてきましたが、実際に現場で働く方にインタビューすることはなかったので、とても勉強になりました。私たちのように将来医療職を目指す人たちにこのWASAOレターを読んでもらって、未来の医療現場を内からも外からも、働きやすく・過ごしやすいしていきたいです。

生徒 M

